



早期完成を願う

中国横断自動車道

尾道松江線（三刀屋木次IC～県境）起工式

事業主体は国土交通省、事業費は約840億円（新直轄方式により費用割合は国と都道府県が4対1）で計画されています。

島根県の無形民俗文化財「槻の屋神楽」の舞披露に続き行われた式では、中国地方整備局の甲村謙友局長が「地域住民の行動地域の拡大、地域経済の活性化などにつながる高速道路の完成に向け、島根県、雲南市との連携を強化し、最大限の協力で早期完成を図りたい」とあいさつしました。

5月28日、三刀屋木次インターチェンジ（IC）以南の中国横断自動車道・尾道松江線（島根県側）の起工式が、木次町下熊谷地内の特設会場で開催されました。

今年度から着工する区間は、三刀屋木次ICから（仮）吉田掛合IC（吉田町）を経由し、広島県境までの24・6kmで、

続いて、国土交通省の関係者や地元選出の国会議員、島根県知事、速水市長、地元木次中学校1年の内田隆一さんと村尾真理さんらが鑑入れを行い、約180名の出席者は、区間の早期完成を願うとともに、工事の安全を祈願しました。

同区間は、約10年後に完成・開通を見込んでおり、

新直轄方式による整備のため、完成後の通行料金は無料となる予定です。

尾道松江線 着工区間（島根県側）



チェリヴァホールで5月30日、平成19年4月の合併に向けた市内6商工会の合併契約調印式が行われました。

調印式では、木次町商工会の田部英雄会長が「この合併によるスケールメ



雲南市6商工会合併契約調印式

リットを活かし、商工会活動が盛んになることを願います」とあいさつした後、速水市長を立会人とし、6商工会の代表らが契約書に調印しました。

大東・加茂・木次・三刀屋・吉田・掛合の各商工会では、平成14年に雲南6町村商工会広域連携体制検討委員会を発足し、統合に向けた準備をすすめてきました。今後、各商工会の代表らで組織される雲南市商工会設立委員会の中で、この合併契約に基づき、協議をすすめていきます。



ソフトボール

舟木さんが世界大学女子選手権大会へ出場



加茂町三代出身の舟木千恵さんが、7月11日から24日まで、台湾で開催さ

れる第2回世界大学女子選手権ソフトボール大会に出場することが決まりました。

舟木さんは、大阪国際大学スポーツ行動学科4年生。高校時代に3年連続でインターハイへの出場や国体への出場、全日本大学ソフトボール選手権大会に出場するなど活躍されており、強肩で守備範囲が広く、パンチ力のあるバッティングが持ち味です。今大会では、外野手（セクター）として日本代表メンバーに選ばれました。

5月22日から6月9日までの間、舟木さんは、



世界大会でのご活躍と日本代表の勝利を期待しています。

防犯ステッカーで

子どもの見守り活動へ協力



近年、子どもに対する犯罪が増加傾向にあることから、市内の各種団体においても防犯ステッカーを車両に貼ってパトロールするなど、児童生徒の登下校時の安全確保と地域内の安全・安心感の醸成に向けた取り組みが行われています。

雲南市消防団もこれらの取り組みに協力することとなり、5月24日には、雲南警察署の小川克美署長や速水市長、高橋日出男団長らが出席し、防犯ステッカーの引き渡し式があり、高橋団長から各方面隊長へステッカーが手渡されました。

今後、このステッカーを消防団員の車両などに貼り、団員個人の防犯に対する意識向上へとつなげていき、安心・安全の雲南市をめざします。